

～地すべりにより被災した国道機能をトンネルにより復旧します～

国道107号大石地区の地すべりによる道路災害については、2月1日から2日にかけて災害査定が行われ、その後国の審査が行われていましたが、2月24日、トンネルによる復旧とすることにより災害復旧事業として採択が決定されました。

- 1 災害査定日 令和4年2月1日（火）～2日（水）
- 2 採択決定日 令和4年2月24日（木）
- 3 決定内容
  - ・ 決定額 C＝約130億円
  - ・ 復旧延長 L＝2,447.3m、道路幅員7.5～12.5m
  - ・ トンネル工1,470m、橋梁工70m
  - ・ 応急仮工事1式（盛土工、仮橋工、横ポーリング工）
- 4 事業期間 令和8年度まで

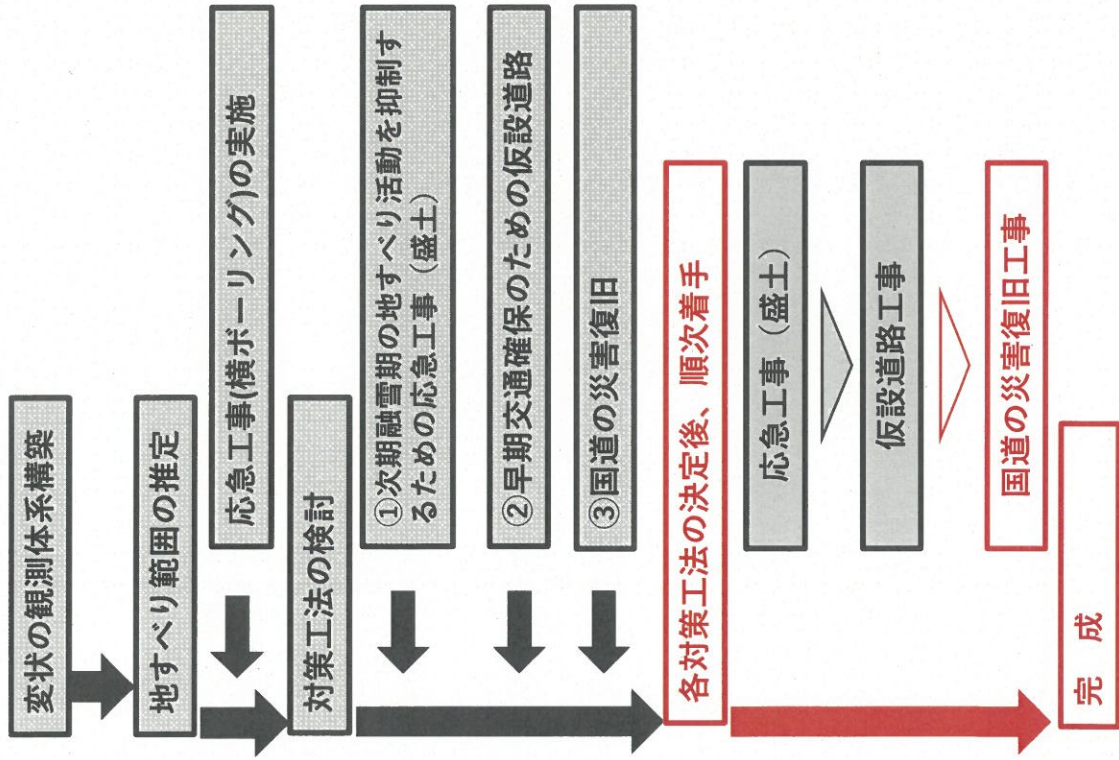
【平面図】





# 1 災害復旧スケジュールと経緯

## 災害復旧スケジュール



## 経緯

- R3. 5. 1 一関市等で震度5弱の地震が発生  
20:30～全面通行止めを開始
  - 5. 3 NEXCO東日本に秋田自動車道無料化の要請
  - 5. 4 14:00～秋田自動車道(北上西～湯田IC)の無料化開始
  - 5. 10 国の専門家(地質、地すべり、道路構造物、ダム)による現地調査
  - 5. 11 伸縮計を設置し、WEBIによるリアルタイム監視・観測を開始
  - 5. 17 調査ボレーリング開始
  - 5. 25 第1回情報連絡会議(これまでに5回開催)
  - 5. 26 耳取地区住民説明会(町主催)
  - 5. 28 第1回技術検討会(これまでに3回開催)
  - 6. 7 水抜き横ボレーリング開始
  - 6. 15 一般国道107号(川尻・当栗間)改良整備促進期成同盟会要望
  - 7. 3 水抜き横ボレーリング9本(3本×3箇所)完了
  - 7. 5 国土交通省防災課による現地調査
  - 7. 20 西和賀町要望
  - 8. 28 調査ボレーリング15本完了
  - 9. 17 応急工事(盛土)に着手
  - 10. 14 耳取地区住民説明会(県主催)
  - 12. 16 仮橋・鋼管杭製作に着手
- R4. 2. 1～2 **災害査定<事業採択は仮決定(保留)>**
2. 24 **事業採択が決定(保留解除)**



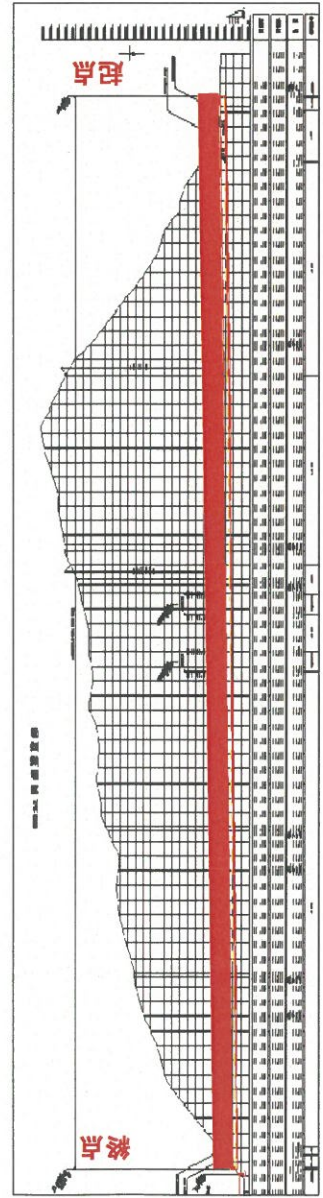
## 2 国道の災害復旧

- 国道の災害復旧にあたっては、現道復旧案よりも**経済性や施工性に優れたトンネル案を採用**するもの。
- 災害復旧事業であることから、今回の地すべり箇所を回避する必要最小限のルートを選定したものの。

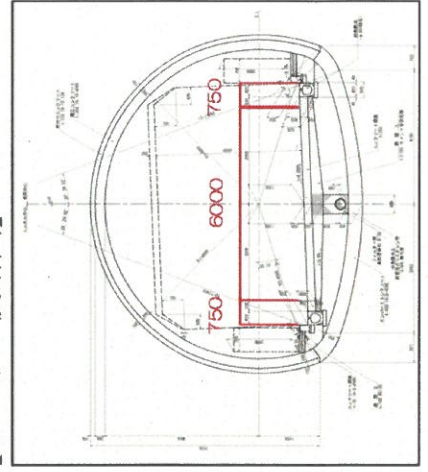
【平面図】



【トンネル縦断面図】



【トンネル横断面図】





### 3 応急工事の進捗

#### 応急工事（盛土）

- 進捗率 約8割（2月14日時点）
- 完成予定 令和4年3月末



施工前 令和3年10月19日撮影



施工中 令和4年2月26日撮影

#### 仮設道路（仮橋）

- 査定決定 仮橋工 約470m、道路部 約360m
- 進捗状況
  - ・ 鋼管杭製作輸送工事 令和3年12月に契約し、製作に着手。
  - ・ 架設工事 契約手続き中。
- 完成予定 令和4年積雪期前